

白 石 市 議 会

厚 生 文 教 常 任 委 員 会

3 0 . 9 . 1 3

白石市議会厚生文教常任委員会

1. 招集日時 平成30年9月13日(木) 午前10時00分

2. 場 所 白石市議会 第3委員会室

3. 本日の会議に付した事件

・白石市小中学校の学校統廃合に伴う準備委員会等の進捗状況について

4. 出席委員

松野久郎 委員長	佐藤秀行 副委員長
佐藤龍彦 委員	伊藤勝美 委員
沼倉啓介 委員	平間知一 委員
菊地忠久 委員	大町栄信 委員
佐久間儀郎 委員	

5. 欠席委員

なし

6. 説明のために出席した者

半沢芳典 教育長	小室英明 学校管理課長
宍戸儀四郎 学校管理課上席参事	小室徹彦 生涯学習課長

7. 事務局職員出席者

大野昭彦 次長	菅野順一郎 主幹兼調査係長
---------	---------------

~~~~~

午前9時53分 開会

◎松野久郎委員長 皆さん、おはようございます。

お忙しいところお集りをいただきまして、まことにありがとうございます。

それでは、会議に入る前にお願いをいたします。

本委員会の議事は、全て録音し、会議録を調製いたしますので、発言につきましては本会議同様、委員長の許可を得た後、発言されるようお願いいたします。

ただいまから、厚生文教常任委員会を開会いたします。

本日の協議事項の説明のため、関係当局の出席を求めていますのでご了承ください。

それでは、協議事項に入ります。

1番 所管事務の調査 白石市小中学校の学校統廃合に伴う準備委員会等の進捗状況につ

いてを議題といたします。

このことについて、教育長から説明したい旨の申し出がありますので、これを許します。

◎半沢芳典教育長 おはようございます。貴重なお時間をいただきまして、経過等の説明をさせていただきますことに、まずもって御礼申し上げたいと思います。

それでは、ただいまから、お手元の資料に基づきまして、白石市小中学校の学校統廃合に関する経過等の概要について、私のほうから説明をさせていただきます。

まず、1番ですが、これまでの経過についてでございますが、これまで、6月定例会以降、保護者説明会を各1回ずつ行っております。

主な議題は、「通学バスの運行について」というテーマで行っております。同様に、合同専門部会をそれぞれの学校区で各1回ずつ、中身につきましては、お手元の資料1ページのところにありますように、各専門部会の協議結果と進捗状況の報告及び通学用バスの運行、閉校記念式典等についての協議を行いました。

9月4日、白石中学校と南中学校の統合準備委員会を行いました。内容につきましては、各専門部会の協議結果と進捗状況の報告及び協議という内容になっております。

なお、本日9月13日ですが、夜7時から白川中学校と東中学校の統合準備委員会を開催する予定にしております。

なお、この間、8月1日付で、それぞれの校区の「統合準備委員会だより」を発行させていただきました。

今後の予定でございますが、白石中、南中、それから東、白川中学校とも、10月中旬に専門部会、それから12月から1月にかけて最終の統合準備委員会及び専門部会を開催する予定にしております。

南中学校の閉校記念式典は、10月13日に文化祭とあわせて実施することにしております。市主催の閉校式は2月9日に行います。白川中学校の閉校記念式典は、市主催の閉校式とあわせて2月16日に行うことにしております。

お手元の資料3ページをごらんいただきたいと思います。

現在、両校で調整中のことについて、中心にご報告をさせていただきます。

まず、白石・南中の統合準備委員会のほうですが、総務部会のほうからご説明いたします。生徒会についてでございますが、現在、両校間で調整を行っておりまして、12月末までには方向性を決めるという段取りで今進んでおります。

それから、PTAの組織及び行事についてですが、両校のPTA間で調整をしておりますし

て、来年度のPTA行事等については、基本的に白石中学校をベースにしながら調整をするということになっております。こちらのほうも、12月末までに調整を終わらせたいということでございます。

それから、9月21日の日に、両校PTAの交流会を実施する予定になっていると報告を受けております。

続きまして、4ページをごらんいただきたいと思います。

記念式典等についてですが、先ほど申し上げたとおり10月13日に行う予定ですが、本事業につきましましては、仙台レインボーロータリークラブ及び大阪リバーサイドロータリークラブの助成金をいただいて実施するということになっております。今後、市は閉校式の案を作成いたしまして、統合準備委員会に諮るという予定にしております。

それから、6のその他でございますが、校納金についてでございますが、現在、白中は一部給食費等については保護者の方に集金をしていただき、南中のほうは口座振替をしております。

私としては、働き方改革等の問題もありますので、できれば口座振替の方向で調整をしたいというふうに思っておりますが、白中のほうは多分時間的に間に合わないかもしれません。平成31年度は併存するような形で、斎川・越河地区のお子さんのところについては、口座振替をそのまま継続できればという方向で調整しております。これも12月末までには方向性を決めたいというふうに思っております。

続きまして、教育環境部会のほうについて申し上げます。

1 通学用バスの運行及び通学路の安全対策の(4)のその他でございますが、バスの時間までの待機場所としては、白中のミーティングルームを考えておまして、12月の体験入学時に、保護者、お子さんに実際に見ていただくことにしております。

それから、あと、1年間運行しながら、不都合な点等については、次年度に向けて見直しを検討してまいりたいというふうに思っております。

学級編制についてでございますが、南中生のみならず、白石中生一人ひとりと学級・学年全体を考えて学級編制を行うということにしておりまして、この件につきましましては人事異動等の絡みもございますので、これは、3月まで恐らく編制についてはかかるんだろうというふうに考えているところです。

次に、6ページをお開きいただきたいと思います。

校則などの「きまり」についてでございますが、白石中学校の「生徒心得」を基本といた

しまして、12月に白石中学校で行われる体験入学及び説明会で、白石中学校より、該当の生徒及び保護者の方に説明をすることになっております。

それから、部活動についてでございますが、いろいろ調整が、県の中体連等と調整が済みまして、春休みの部活動については、白石中学校での部活動に参加を希望する生徒は参加が可能という方向で今進んでおります。

心のケアについてでございますが、南中と白石中で引き継ぎをしっかりと行って、対応してまいりたいというふうに思っております。

続いて、7ページごらんいただきたいと思います。

これまで、両校間の生徒がどのような形で交流をしてきたかということでございますが、8月、夏休み中でしたが、宮城教育大学の協力を得まして、花山少年自然の家で合同宿を両校で実施をいたしました。授業や文化祭等の交流は、今後9回実施する予定にしております。白石中合唱コンクールにおいて、南中生徒が合唱を披露する予定で今進んでおります。

それから、教材関係についてですが、一番大きな問題になったのは武道でございまして、現在、白石中学校は剣道、それから南中学校は柔道を選択をしております。この調整についてでございますが、来年度の武道種目については、指導者との関係もありましてまだ決まっておりませんが、仮に剣道であった場合については、南中の生徒が購入するものはないと。白中の備品で対応できるということで報告を受けております。

続きまして、9ページをお開きいただきたいと思います。

白川中と東中の統合の状況について説明いたします。

まず、総務部会のほうからですが、歴代の校長及び歴代のPTA会長さんの写真の掲示でございますが、写真を現在掲額してあるそのまま東中へ移管することを検討するというふうになっておりますが、ここからちょっと進みまして、現在のものをそのまま移管するという方向が明確になりつつあります。

それから、10ページをお開きいただきたいと思います。

生徒会について、いろいろな意見はありましたけれども、現在、白川中の会長は東中の副会長に、白川の執行部の生徒3名は東中の執行部に入る方向で現在調整が進んでおりまして、これも12月末までには方向性を決めたいというふうに思っております。

それから、PTAの組織ですが、日程を調整いたしまして、組織や交流についての話し合いを行うことにしておりまして、この辺も、ここについても12月末をめどに決めたいという

ふうに考えております。

それから、こちらも実は、東中は給食費については地区で集金、それから校納金等については口座振替というような方法でして、白川中は全て口座振替ということになっておりまして、先ほど南中と白中のところでご説明申し上げたとおり、12月までに調整をしながら、来年度の集金方法について確立するという予定になってございます。

それから、13ページをごらんいただきたいと思います。

教育環境部会についてですが、バスの運行でございますが、始発は内親を7時に出発するというので調整が終わりました。早く登校する必要があるときは、保護者が対応するというのを保護者の皆さんから提案していただきまして、このようなバス時間といたしました。

それから、朝の便につきましては、これ仮称でありますけれども、鷹巣東停留場で折り返しということで、キューブ前ではなくなりました。これについては、地図は入っていない。

(「つけてないです」の声あり) キューブの東側のところ、交通量等を、子供の安全を第一優先に考えまして、より東中に近い側のほうで、キューブの東側のところをバスの発着停留場にすることで今進んでおります。

それから、(4)番のその他になりますけれども、東中から片道2キロ以上であれば自転車通学を許可しております。白川中学校区は2キロ以上あることから、全員の自転車通学が認められます。したがって、学校及びバス停まで自転車を利用して構わないという方向で今調整しております。

自転車置き場につきましては、公民館、それから小学校、中学校跡地など、市の施設については使用可ということで今進めております。なお、さらにもっと必要という場合は、地区での民間の土地であったり場所であったりということになりますので、それは地区で調整をしていただくということでお願いをしております。

それから、クラス編制については、先ほど申し上げたように、これは12月までというわけにはなかなかまいりませんので、3月にもつれ込むんだらうというふうに思っております。

14ページをお開きいただきたいと思います。

今まで白川中が行ってございました「孫の手づくり」は、自治会長や東中職員も参加し、活動の様子を今年度実際に見学をいたしました。「孫の手づくり」や「巣箱づくり」については、公民館で継続できないか現在検討しておりまして、これにつきましても12月末までに一定の結論を出してまいりたいというふうに思っております。

以上が6月定例会以降の進捗状況でございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し

上げます。

◎松野久郎委員長 ただいまの説明について、これより質問に入ります。

質疑ありませんか。

◎沼倉啓介委員 4ページの専門部会の式典に関して、仙台レインボーロータリークラブと大阪リバーサイドロータリークラブの助成という形で記載あるんですが、白石でも白石ロータリークラブと白石北ロータリークラブという有名な伝統あるロータリークラブがあって、子供たちのために何かをできないか、何をしたいかという形のを模索しているような形のところがあって、なぜ地元の名前が出てこないのかなと、そこら辺がちょっと私疑問を感じたんですが、何かあるんですか。

◎松野久郎委員長 これなんですけれども、文化祭、「感謝の会」となっていて、ここに仙台レインボーロータリークラブと書いてあるようですが、これは、校長先生が仙台レインボーロータリークラブの方をご存じで、そちらの方に声かけたんですね。それで、レインボーで白石ロータリークラブのほうに来まして、同じガバナー区域の中で同時のものを2つ申請はできないということで、最初に声をかけたレインボーさんのほうでやってもいいですよという話を白石ロータリークラブのほうでして、それでレインボーでやるようになったんですが、それだけでも助成金が足りないということで、同じ地区内でそれ以上はもうお金は出せないということで、仙台レインボーロータリークラブと姉妹を結んでいる大阪リバーサイドロータリークラブのほうに、仙台レインボーロータリークラブが話をして、そして、そちらから、こちらに招く六華亭遊花とか、こういう人たちの支援をいただいたと。

それは、どういう背景かという、今までそういうことをずっとやってきた、この2つのロータリークラブが、今までずっといろいろなところの学校の統廃合のときにやってきたんだそうです。そういったノウハウもありますからということで、白石のほうのロータリークラブに説明をしに来てもらって、ガバナーを通して、それもオーケーというふうにしました。したがって、白石の名前が入っていないというのが内容です。

◎沼倉啓介委員 ただ、考えてみると、同じ仙台でも2520地区という国際ガバナーなロータリークラブの一つの地区で、PSCなんていうのは、白石北ロータリークラブが中心になって立ち上げたわけでしょう。だから、その辺、こういう大事なときに、一番先に、白石ロータリークラブと白石北ロータリークラブがあるわけですから、その辺なぜなのかなという形で、仙台レインボーロータリークラブさんの働きは最大限感謝するにしても、そこら辺、地元を少し活用してあげないと、地元の名前が出てこないという形のものが何か違和感があるんで

すよね。

だから、そこら辺はやはり最初の取っかかり、校長先生がロータリークラブのチャーターメンバーを知っているという形もあるでしょうが、ここに立派な委員長もロータリークラブに入っているわけですから、そういう形の中で、拙速に集めやすいところは集めるという形のものでなくて、登別に視察へ行って統廃合の様子を見てきても、やはり地元と自治体の連携をしていかないと、なかなか物事が進まないという現実を目の当たりにしてきたんですよ。だから、そこら辺もうちょっと慎重に優しく運ぶべきかなと私は思いますね。

◎半沢芳典教育長 私も詳細はちょっと……、今、松野委員長から話されたとおりでと思うんですが、実はこのロータリークラブとのつき合いというのは、並行で今年度からつき合っていたわけではなくて、昨年度もいろいろな形でかかわりのある中で、たまたま文化祭に対する助成というような形で始めて、たまたま2年目の今年が閉校の年にぶつかったというふうに私は報告を受けておりますし、あと今、沼倉委員からご指摘のように、地元を決してないがしろにしたりというようなつもりは毛頭ございませんので、今後、助成を受ける場合は、同様なところがあれば声をかけながら、助成していただけるかどうかも含めて、今後、同種のことがあれば検討してまいりたいというふうに思っております。

◎沼倉啓介委員 反論するわけではないんですが、高い会費を取って、そこで地域のために貢献したいというような、そういう深い心を持って活動している団体なわけでしょう。ですから、PSCなんていうのは白石北ロータリークラブが最初きっかけになって、今、全中学校に拡大しているわけですよ。ほかの地域でも、そのPSCの取り組みなんていうのは目を見張るような形でやっているという形ですしているわけですから、そこら辺は、今までの活用の仕方もあるでしょうが、こういう大事なときに、地元の子供たちの健全育成のために一働きしてくれないかと言ったら、誰も手を挙げないクラブなんてないですよ。これは、奉仕の精神でやっているクラブですから。ですから、そこら辺は再度慎重に優しく取り扱っていただければありがたい。

◎松野久郎委員長 ほかに質疑ありませんか。何でも結構です。

◎沼倉啓介委員 自転車通学、東中学校で統廃合したときも、一番それが大きな問題になったんですよ。結局、自転車通学は2キロ以上全部認めるよという形になって、結果的には街路灯が整備されていない大鷹沢地区なんていうのは、全部保護者が送り迎えしていたという経過があって、今回、白川中学校あたりがそれに大体同じような該当になるのかなという感じなんですよ。

そこで、今、教育長がおっしゃったように、バスの乗り場に乗り捨ての駐輪場の問題、そこから辺が恐らく何らかの問題が生じてくるというのは、そこから辺だと私は思うんです。ですから、再度、地元と詰めて、ある一定の形式的なものでもいいですから、考えられる全ての方策をとっていただければありがたいかなと思います。

◎半沢芳典教育長 今の件については、地区でもいろいろご意見をいただいているところですので、なお、先ほど申し上げたように、公的施設の自転車置き場については使えるということと話してはありますが、なお、その辺あと詰めてまいりたいというふうに思っております。

◎佐久間儀郎委員 先ほど4ページのところで、校納金の関係で白中さんは集金されていて、南中さんは口座振替と。今回は、口座振替のほうに統一していきたいというお話だったと思うんですね。

そこで、ちょっと思ったのは、今回、議会の中で結構給食費とかなんかについては、その辺の未納の状態があって、それで口座振替よりもというか、直接PTAさんならPTAさんの顔がわかる方が行って、あとお願いすることによって集金率が上がるというようなこともあったかと思うんですね。その辺のところを、一律口座振替にした場合には、かえって未納の分が、かなりというか、ふえてくるような可能性があるのではないのかなという懸念を持ったんですけれども、どうなんでしょうかね、これ。

◎半沢芳典教育長 過日、決算審議のときにも、給食費の未納問題というのは取り上げられていたわけですが、現在、私のところで確認できる資料だと、市内、口座振替のところと、それから手で集金といいますか、保護者の方に集金していただいているというのが混雑しております。各学校で適切に判断して決めているわけですが、未納について申し上げますと、手で集金をしている学校が未納がないとか少ないとか、それから口座のところは未納があるということは言えないんですね。したがって、必ずしも手集金のほうが確実に集まっているかということとは言えない状況なんです。

例えば、白川中、それから南中は口座振替ですが、未納は過去も現在もございません。南中の保護者の皆さんからご指摘を受けたのは、あえて口座振替がきちんと定着しているのに、それをやめて手集金で集めるようになると、学区が非常に広いと。したがって、いらっしゃらなければ集金できないというようなことの指摘をいただきましたし、それから将来的にはという働き方改革の問題もあって、白中も検討していくということにはしていますが、来年度すぐにこの時期から口座振替にするというのは実は不可能だろうと。金融機関との調整等が非常に煩雑でして、私も白石二小で口座振替にしたときは、やっぱり1年

以上かかっているんですね。保護者のご意見もいただかなければならないということで、手続等も考えると、現実的には南中から来る生徒さんについては口座のまま、そのまま定着していく。これは白川中も同様ですけれども、白石中と東中については少し時間をかけて検討していく以外ないだろうと。

なぜ、手集金でも未納金が生じるのかということ、実は、今、社会生活の各ご家庭の生活が非常に変化しております、私が白石二小で口座振替にするきっかけは、白石二小の場合は子ども会単位で集めていただいていたんですが、子ども会には入っていないから、うちにはそこにはまざらないとか、さまざまな社会生活の変化に伴って、もう現実合わなくなってきたこと。

それから、もう一つは、準公金を民間の方に委託した場合、納まらないというそういうトラブルも懸念されて、実際にそういうことを私も経験したんですね。その場合、一体誰がその集まらなかった分について責任を持つかと。現行の制度でいきますと、市と校長との間で債務関係がございまして、最終的には集まらなければ何らかの形で学校という……。そうすると、負担を非常にかけるということも、学校に対して負担をかけるということも、金銭的な面も含めてですね、それで、何とか悩ましい問題ではあるんですけども、これは検討していかなければならないことだし、わざわざ口座振替が定着しているところを、あえて統合を機に手集金に戻すということは、私はできればとりたくないというふうに思っております。

◎佐久間儀郎委員 事情、背景わかりました。

◎松野久郎委員長 私もPTA会長のときに口座振替にしたんですけども、保証人という欄を設けて口座振替しました。保証人がいますと、本人が払わないと保証人のところに電話がいくような形になっていまして、そうすると1年間くらい過ぎると全て未納がなくなるという、そういうのがありましたので、確実だと思います。

◎沼倉啓介委員 今、松野さんがおっしゃったような形のものは、人数が少ない学校だったらわかるんですけども、例えば東中学校とか白石中学校規模のクラスになると、なかなかそれも大変になってくるんだね。保証人をつけるということ。ただ、昔みたいに口座振替にしていると、残高を小さくして引き落としできないような形にしている場合もあったんです。昔はね。ただ、今はそういうことはないと思うので、口座振替である程度自動引き落としみたいな形の方式をとると、これは可能なのかなという感じは今のお話を聞いて……。

確かに、東中学校を統廃合したときも、その問題でうんと荒れたんです。荒れたというよ

りも、議論伯仲したという言い方のほうがいいのかな。結果的には、折衷案という形のもので暫定的にやってみようということになったんですが、今はちょっと時代的背景が違うので、なるべくなら……。手集金というと、そのうちに一々担当者が行っても、3回も4回も行っても集金できないとか、かえってその方が今度受けなくなってしまうんですね。次の回から。そういうこともあるし、最良なベストな方法をとってもらえればありがたいですね。

◎松野久郎委員長 バスの運行は土日原則……。バスの運行ですけれども、土日の運行というのはどのように……。

◎小室英明学校管理課長 基本的にきゃっするくんを使用するということで、土日は運行しておりませんので、その分、学校からあらかじめ年間の事業計画ですね、この日は日曜日の授業を行うとか、それに沿って別途出す予定で考えております。

◎松野久郎委員長 部活は該当外ですか。

◎小室英明学校管理課長 部活については、地区においては、まだ説明が曖昧なところありますけれども、時間がそれぞればらばらになんかなったりする可能性もあるもので、そこはまだ協議の余地を残しております。

◎半沢芳典教育長 補足ですけれども、部活については9月の県の議会において条例改正がされる予定でして、今まで休日の部活の手当が4時間ということでついておったんですけれども、それが3時間、働き方改革の問題があって、3時間ということで提案される予定になっております。

したがいまして、今、課長が話したように、部活の土曜日部活、日曜日部活についてのバスの対応ですね、現実的に難しい面も……。始まりと終わりが今度部によっていろいろ変わる可能性があって、授業参観とかPTA総会とか土日に行く場合については、これは確実に始まる時刻が決まっておりますので、それは予算を当初で計上できるようにしていきたいというふうに思っていますが、その土日の部活については少し検討の余地があるなというふうに思っております。

◎松野久郎委員長 ほかに質疑ありませんか。

◎佐藤秀行副委員長 今、教育長お話しされた部活動の、前は4時間3,600円、それが3時間2,700円になるということが、どういうふうにバスのあれとかかわってくるのか、もうちょっとお聞きしたかったんですけれども。

◎半沢芳典教育長 ちょっと言葉足らずだったんですけれども、実は学校が始まる時というのはスタートする時間が決まっておるので、比較的バスの運行の時間の調整はしやすいんで

すけれども、部活の場合ですと、土曜・日曜の部活をやるところの実態を聞いてみると、始まる時刻が部によって異なったり、それから終了時刻が異なったりするようなどころもありまして、できれば、これは県の指導もありまして、練習時間が長いことイコール成績と結びつくという、そういう考え方は変えていかなければならないというのも再三再四指導されているところですので、できれば土日の部活をやるといふことの常態化から、少しこれを機に見直していかなければならない部分もあるのではないかという意味で、ちょっと言葉足らずで申しわけありませんでしたけれども、土日の部活を奨励するという立場はなかなかもうとすることは難しいのではないかというふうに思っております。

実際に、今の中学校、とりわけ中学校の教員の働き方、働く時間というんですかね、在校時間というのがありますけれども、それも非常に長くなっているというのが実情ですので、この辺もこの機に少し考えていければなというふうに思っております。そういう意味です。大変申しわけありません。

◎平間知一委員 そうすると、今の話ですと、大体、土曜・日曜なんかは部活の練習試合ね、練習試合なんか大体は土曜・日曜やっているんですけれども、それもなくそうという話なんですかね。練習試合。

◎半沢芳典教育長 この練習試合とか大会ですね、いわゆる土日にやるのが、もちろん子供たちは平日は学校におりますので、平日に行くことは事実上それはできないわけです。ただ、主催団体がさまざまです、教育委員会としてどこだというふうに言える部分と言えない部分がありますが、現実には、会場に保護者の皆さんが保護者会等で送っていかれるというケースが多いのではないかと。したがって、学校が会場になればということはありませんけれども、違う場所が会場の場合は、そういうような形をとらざるを得ないと。

したがって、スクールバスを出したから、通学用のバスを土日に運行したから、それに対応できるとはなかなか考えにくいところございまして、これちょっと時間はかかりますけれども、中学校とバスの運行、あした運行してくれというわけにはいきませんので、この辺詰めて、必要なところはできれば予算化をしていきたいというふうに思っております。

◎伊藤勝美委員 ちょっと話それるかもしれないんですけれども、教職員の働き方ということで、つまりクラブ担当というか、そういう部活の担当になって、その辺の時間、先ほど言った金額的なものもあるでしょうけれども、実際、白石においてスポーツの顧問というか監督というか、そういう方向性というか、そういうのはどういうふうになさる予定でいらっしゃるんですか。

◎半沢芳典教育長 実は、現在まだ、県から部活動指導者ということで、学校の要望で3人で  
すか、3校ぐらいに要するに外部指導者を入れているわけですが、これは見通しでは、県は、  
この前6月議会でも佐久間委員さんに聞かれたところでありますが、県はこの制度をやめる  
と言ってるんですね。2年後ぐらいをめどにやめると。それで、どうするかというと、国が  
やる指導者の方向に切りかえていくと。したがって、本市も調査がございまして、白石市と  
して、国の制度を使って部活の外部指導者に手を挙げる予定はあるかということで、私は県  
教委に対しては、各中学校の校長に来年度必要があるかどうか全校に確認をいたしまして、  
それで手を挙げました。必要な人数はちょっと今ここで申し上げられませんが。

それで、県の制度とこれからの部活動のどこが違うかということ、今の県の制度は大会等の  
引率はできないんですね。中で指導することはできるけれども、日曜日とか土曜日に引率は  
できないと。国の制度の場合は、それはできることになっておりまして、そういうことでは、  
使い勝手からいうとそちらのほうがいいのかなど。働き方改革との関連からいうと、そっち  
のほうがより望ましいのではないかと。

ただ、費用負担が3分の1生じますので、この辺は、国3分の1、県3分の1、自治体3  
分の1ということになりますので、ここについてまたお金のかかることではありますけれど  
も、できればそういう方向で来年度から少しずつ切りかえを、来年度、再来年度は両制度が  
併存する形になりますので、そこは精査していきながら、やがてそっちの方向に移動できれ  
ばというふうに考えております。

◎松野久郎委員長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎松野久郎委員長 質疑なしと認めます。

以上で質疑を終わります。

以上をもちまして、本日の協議事項につきましては全て終了いたしました。

その他、皆様から何かありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎松野久郎委員長 委員の皆様には、終始ご熱心にご協議いただき、深く敬意と感謝を申し上  
げます。また、理事者各位におかれましても、委員会の円滑なる運営に格別なるご協力をい  
ただき、厚く御礼を申し上げます。

お諮りいたします。この委員会において協議されました字句、数字、その他整理を要する  
ものについては、その整理を会議規則第107条の規定に基づき、委員長に委任されたいと思

います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎松野久郎委員長 ご異議なしと認めます。よって、その整理を委員長に委任することに決定いたしました。

これをもって本委員会を閉会といたします。

大変ありがとうございました。

~~~~~

午前10時30分 閉会

白石市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

厚生文教常任委員長 松野久郎